

第4回富良野市総合計画・総合戦略有識者会議 議事録

- 開催日時 令和2年10月4日(日) 午後4時15分～午後5時30分
- 開催場所 富良野文化会館 大会議室
- 出席者 <委員>北会長、荒木委員、菊地委員、松村委員、山崎省委員、倉西委員、柿崎委員、吉本委員、平間委員、小玉委員、吉中委員、飯沼委員、黒木委員、山崎留委員、岩井委員 (計15名)
※欠席委員 石川委員、加茂委員、藤田委員、遠藤委員、林委員 (計5名)
<事務局>稲葉総務部長、山下市民生活部長、柿本保健福祉部長、川上経済部長、小野建設水道部長、亀淵教育部長、藤野財政課長、関澤企画振興課長、入交企画振興係長
<受託事業者>フラノデザイン(株) 中村、大曾根、甲野藤

1. 開会(午後4時15分)

- ・事務局より、欠席者について報告

2. 市長挨拶

- ・前段に開催されたワークショップに参加された委員の皆様お疲れ様でした。
- ・本日の有識者会議は、ワークショップと委員の皆様から事前に提出をいただいた戦略シートの情報共有を予定している。
- ・ワークショップの感想を述べさせていただくと、柔軟な形で進行していただいた効果もあり、理屈にこだわるのではなく、おおらかに議論できたのではないかと。
- ・将来に向けて何かを作っていくには、そういった発想が大事になってくるのではないかと。
- ・引き続き、有識者会議での議論をよろしくお願い致します。

※以降は、設置条例第5条に基づき、北会長が進行。

3. 議題

【北会長】

- ・議事に移りますが、有識者会議は、フラノデザイン株式会社にコーディネートをお願いしておりますので、よろしくお願い致します。

(1) ワークショップ及び戦略事前ワークの情報共有について

【フラノデザイン 大曾根】

- ・この時間はワークショップの振り返りと提出いただいた事前ワークの共有を行い、今後の動きの確認をしていきたいと思えます。
- ・まずはワークショップの感想や印象的だったことなどを参加された委員の皆様からお願いします。

【飯沼委員】

- ・富良野の将来を担っていく若い人たちが参加し、積極的に意見を発してくれた。
- ・私たちの世代が彼らの行動を後押し、支援、サポートしていくことが大事だと感じた。
- ・総合計画が、住民全員に知れ渡る必要がある。

【山崎留委員】

- ・とてもなごやかで、自由な意見を出せた。
- ・これからも若い方から年配の方まで色々な方が集まってワークショップができれば良いと思う。
- ・今日出た意見を落とし込んで実現できると良いと思う。

【荒木委員】

- ・若い世代で「富良野」という漢字が読めない人が多いことにショックを受けた。「富良野」という名前が売れていると思っていたが売れていない。かなりブランド力が落ちていると感じた。
- ・まちづくりは、市民が幸せを感じて住むことであるが、今の若い世代には愛着や誇

- りが無くなりつつあるのではないか。
- ・話し合いの場として、ワークショップは毎年開催してはどうか。

【黒木委員】

- ・昨年もワークショップに参加したが、今年も参加する中で新しい方の意見を聞いたことは良かった。
- ・参加することによって本人の意識も変わるし、もしかしたら次の動きにつながるかもしれないので、市民の参加を広げていってはどうか。
- ・参加する方法として、オンラインという方法もあるのではないか。

【吉中委員】

- ・昨年のワークショップに参加できなかったのが、今回参加でき、良い経験をさせてもらった。
- ・ワークショップの良さは、テーマがはっきりしていたこと、集まっていた人の意識が高かったことである。
- ・アイデアを自分の中に秘めておくのではなく、言うこと・言う場所があることが大事である。
- ・小中高校生に、夢を語ること、アイデアを出してもらうことも1つの方法ではないか。
- ・既成概念、慣例に囚われないことにより、自由な発想が出てくるのではないか。
- ・富良野の中だけではなく外からの視点も大事で、自分たちも外に出ていくことが必要ではないか。
- ・人が中心で、デジタルは人が幸せになるための便利な1つのツールである。
- ・計画が実行されないと意味がないので、実行していくことが大事である。

【松村委員】

- ・自治体で総合計画を策定する際、ワークショップは常識化しているが、アリのバイ的に実施するところが多い中で、今日のやり方含め優れたワークショップだと感じた。
- ・一般参加者、有識者会議委員、行政が一緒になって運営していくことで良いワークショップになったのではないか。
- ・ワークショップの参加者が成熟していくと、言った意見がどうなったのか興味がわいてくるので、ワークショップで出た意見が計画にどう反映されたかの道筋を明確にする必要がある。
- ・ワークショップに参加しているのは市民のごく一部なので、他の市民へ情報発信して共有していく必要がある。

【岩井委員】

- ・なごやかな雰囲気楽しく参加することができた。
- ・ワークショップで出た意見がどう活かされ、どうつながっていくのかが気になる。
- ・参加した人に結果が見えるようにする必要があり、フィードバックしていくことも大事である。

【山崎省委員】

- ・色々な立場の人と意見交換ができ、有意義であった。
- ・それぞれの立場の人がそれぞれの問題を共有できたことは良かった。
- ・普段は閉じられた社会の中で仕事をしているが、開かれた学校を目指したいと考えているので、もっと問題を共有できる場所があれば良いと思う。

【小玉委員】

- ・今回ワークショップを初めて経験させてもらった。
- ・みなさん富良野のことを考えてアイデアが出てきたことは素晴らしい。
- ・学校教育の中でも子供たちに富良野の魅力等を教えているが、子供たちは都会で出たい思いがあるので、富良野に帰って来れる状況が必要ではないか。
- ・意見が総合計画にどう反映されるか楽しみにしたい。

【柿崎委員】

- ・色々な立場の方と、未来や課題について話ができて、有意義であった。
- ・特に印象的だったのは、富良野らしい取組を考えたとき、具体的なものが出てこな

かった。今後、核となるものが必要で、具体的に表現してことが大事ではないか。

【吉本委員】

- 出てくる意見すべてに郷土愛を感じたが、どう具現化するかが難しい。
- 実行する立場の人のリーダーシップが必要である。

【平間委員】

- 民主的なワークショップが開催されたのは、フラノデザインのおかげだと思う。

【北会長】

- 参加者が真剣に富良野の将来を思って、発言していることに心強く感じた。
- これからは考えだけではなく、行動が大事になってくる。
- 行政側へのご指摘もいただいたが、みんなでまちをつくっていく行動ができればと思っている。

【フラノデザイン 大曾根】

- 一言ずつ発言ありがとうございました。
- この後の続けていく、つなげていく動きが大切になってくると思います。
- 今後の話になりますが、ワークショップの声や事前ワークシート、これまでの議論を基に、庁内策定委員会やプロジェクトチームで素材をもう一度見直し、11月2日の有識者会議で戦略のたたき案を提示し、11月30日の有識者会議でパブリックコメントに向けた原案を提示できればと考えています。
- 残りの時間は、提出いただいた事前ワークの補足をもらう形で委員の皆様からご説明をお願いします。

【荒木委員】

- 今後の計画というよりも施策に関わることを具体的に書かせてもらった。
- 資料等を見直して気になったのは、作ったものが計画にどのくらい反映されたか、作った計画がどういう結果になったのか。
- 作った計画に成功したのもあれば、未達のものもある。未達だったものは検証されているが、できなかった理由になっていない。できなかった理由を明らかにしていく必要がある。
- みんなで作った計画は実現してもらわないと困るので、検証と改善に取り組んでほしい。

【松村委員】

- 総合計画は都市全体の計画にならざるを得ないが、富良野市の地域構造を考えると市街地と農村部に分けられる。農村部を意識したものにしていかなければならないのではないか。
- 人口減少時代に入って大きく価値観を変えなければいけないのではないか。

【吉中委員】

- 松村委員に質問です。人口が市街地に集中して農村部の人口が減る中で、コミュニティ維持、農地や道路の管理等を危惧しているが、事例等を通してこういった工夫や対策が必要か。

【松村委員】

- 具体的には色々あるが1つは行政頼みにならないこと。昔は、やっていたように自分たちができることは自分たちで地域が良くなるようにやること。
- 物理的に密度が落ちてくるので、例えば、住む場所を集めることでインフラコストを抑えることができる。抑えることができたコストを地域で使わせてもらう。

【荒木委員】

- 松村委員の言ったことは、中心市街地活性化でもキーワードとなっている。市街地への集積がないと行政コストがかさむ。子供たちの教育に対しても、能力を高めるためには刺激の多い環境が必要となる。この辺のところは、みんなで検討していかなくてはならない。
- 5年前の総合戦略策定時にとったアンケート調査は具体的でそれをベースに取り組

- んだことがあるので、ベースをしっかりとる必要があるのではないかと。
・行政頼みではなく、民間だけでは厳しくなっているところもあり、行政の支援が必要という提案であることをご理解いただきたい。

【山崎省委員】

- ・これまでの学校は閉じられており、すべてのことが学校で完結してしまう。
- ・これからは地域と学校が一体となって、Win-Win の形で子供を育てていく必要がある。
- ・地域の中の資源を活用するためには、様々な検証やお互いの理解が必要となってくる。

【倉西委員】

- ・金融機関の視点で書かせてもらった。
- ・新型コロナで消費やライフスタイルが変化し、ビジネススタイルも影響を受け、中期的に見てこの動きを無視できない。
- ・消費やライフスタイルは、インターネットや宅配の需要などが増えている。
- ・ビジネススタイルは、デジタイゼーションの加速、テレワークやワーケーションの普及などがあげられる。
- ・金融機関としては、コロナ禍の中で仕事の WA を応援していく。
- ・短期だけでなく中期的に考え、更にリスクを踏まえた対策が必要になってくる

【柿崎委員】

- ・昨年、仕事の関係で富良野に来たばかりなので、職場の人の声を聞きながら書かせてもらった。
- ・若年層にとって魅力のある環境の整備が大事なのではないかと。
- ・子供たちの声も取り入れる必要もあるのではないかと。

【平間委員】

- ・内容は書いているとおりです。

【黒木委員】

- ・新規就農と演劇でまとめさせてもらった。
- ・新規就農は、色々なチャレンジをする機会を与えてほしい。
- ・演劇は、色々な形で地域に根付いており、専門的な人材を活かし、富良野を演劇のまちにしてはどうか。
- ・新型コロナの影響で、人としての転換期にあるのではないかと。お互いに助け合う必要があり、市民が率先して行政がサポートするような組織があれば、住みやすいまちになるのではないかと。
- ・新型コロナで抑制しすぎると子供たちの成長に悪影響が出てしまうのではないかと。長期的に考えると、どこかで折り合いをつける必要があるのではないかと。
- ・気候変動が気になっており、富良野だけでは変わらないかも知れないが、一人一人が考えていく必要がある。
- ・SDGs も富良野が率先して動く必要があるのではないかと。

【山崎留委員】

- ・思っていることを簡潔にポイントだけまとめた。
- ・黒木委員の「食と農のアミューズメント施設」は良いと感じた。官民一体でできたら富良野をもっとアピールできるのではないかと。

【黒木委員】

- ・「食と農のアミューズメント施設」は、体験型で富良野の魅力が詰まったものをイメージしている。需要があるのにもったいない。

【岩井委員】

- ・女性、子育て、移住者の視点で書かせてもらった。
- ・子供を産み育てる世代を流出させないための工夫が必要ではないかと。
- ・5G や光回線が導入された際に、活用できる体制づくりが必要ではないかと。
- ・黒木委員の「食と農のアミューズメント施設」は良いと思う。体験したい、美味し

- い野菜を食べたいという需要はあるのではないか。
- ・未来の大人（今の中高生）が富良野愛を持って、育っていけるような環境づくりが大切だと感じる。ラフティング体験など地元の子供たちが富良野の資源を楽しめると良い。
 - ・KPI を考えるのは難しいが、10歳以上の市民に生活満足度調査を実施し、ひとつの指標にするのはどうか。10歳以上であれば思考力が養われている。

【荒木委員】

- ・アドベンチャーツアーや農業体験などを実施するためには、コーディネーターが必要になってくる。
- ・新しい観光コンテンツに官民一体で取り組んできた経過があるが、コーディネーターの確保など課題が生じた。
- ・富良野の子供たちにすべての観光コンテンツを体験してもらうことは、愛着や誇りにつながってくるのではないか。

【フラノデザイン 大曾根】

- ・今回は、提出いただいた事前ワークのポイントや背景をお聞きする形となったが、それぞれ読み込んでいただきたいと思います。
- ・また、庁内策定委員会やプロジェクトチームの中で事前ワークやワークショップの声などをつなげていきたいと思えます。

【北会長】

- ・本日の長時間に渡る進行ありがとうございました。

4. その他

【北会長】

- ・その他の案件、皆様からありますでしょうか。

【黒木委員】

- ・基本構想原案の「WA」の表現は、アルファベットでいくのか。

【フラノデザイン 大曾根】

- ・基本構想原案としては、庁内策定委員会及びプロジェクトチームでは「WA」をアルファベットとしている。
- ・補足資料の中にアルファベットにした意味合いを書かせてもらっている。
- ・パブリックコメントを経て、最終的なものとなっていく予定である。

5. 今後の予定

- ・今後の有識者会議日程について事務局より説明

6. 閉会（午後5時30分）

【北会長】

- ・ワークショップに引き続き、有識者会議と長時間に渡り、ご苦労様でした。
- ・今日の成果も多かったと考えており、今日流した汗が報われるように、今後ご協力の程よろしくお願い致します。